

平成 24 年 3 月 27 日

理事会 承認

平成 24 年度公益財団法人富山市ファミリーパーク公社事業計画

I 基本方針

「人を元気に、森を元気に、いのちを元気に、地域を元気に」をコンセプトに、展示動物や園内の里山を活用し、多様な生物の世界やいのちのつながりを伝える。また、他施設や諸団体と連携する事業を充実させ、より多くの市民の余暇の活用と地域の活性化に貢献するとともに、自然環境と自然に対する人の生き方も体感し考えることのできる場所となるように、園の統一的な事業展開と営業企画を実施する。さらに、ファミリーパーク新整備計画や、新たに「環境未来都市」に関する取組に参画し、市民が自然により親しめる市民本位の事業を計画し、明るく楽しい、魅力あふれる施設を目指すもの。

II 事業計画

1 ファミリーパーク新整備計画及び「環境未来都市」に関する取組への参画

策定されたファミリーパーク新整備計画に基づき、今後の施設整備や事業について、情報収集や企画立案を図りながら、整備計画の実施に向けて引き続き富山市と協議を進める。また、呉羽丘陵を舞台にした「環境未来都市」に関する取組に参画し、富山市や各団体、大学等と連携を図りながら事業を推進する。

2 公益財団法人への移行登記等

公益財団法人への移行登記及び運営を開始する。

3 公益目的事業

(1) 施設管理事業

- ・快適な観覧環境を来園者に提供するために、建物及び設備等施設の維持管理を行う。
- ・施設の老朽化に伴う安全対策の徹底を図る。
- ・入園料等の徴収と富山市への納付を行う。

(2) 動物管理事業

多様な動物の展示・収集と教育啓発、繁殖研究を里山の自然や文化と結びつけて展開し、生物の多様性について伝える。また、国内外の動物園や研究施設、関係省庁等と連携し、日本及び外国産の希少野生動物の飼育・繁殖技

術の確立に取り組む。さらに、在来家畜などを活用した動物とのふれあいを通して命の大切さや人と動物の関わり大切さを伝える。

また、ファミリーパーク新整備計画事業における、(仮称)命ふれあい冒険村(いのちの体験ゾーン)の事業計画や整備計画について検討、協議を進める。

① 飼育展示事業

動物の行動展示の充実、積極的な動物収集及び繁殖計画の推進を通していのち大切さを伝える。また、里山生態園の展示の充実に努め、野生動物と人と里山環境との関係について伝える。さらに、日本在来家畜の展示を通して、日本人との関わりや文化を伝え、その普及と保存に努める。

② 繁殖研究事業

日本産希少野生動物について、関係機関等と連携して、繁殖研究に取り組み、飼育繁殖技術を蓄積し、保護増殖に努める。また、その他の日本産動物や外国産希少野生動物についても飼育下繁殖に取り組み、保護増殖に努める。

③ 教育啓発事業

動物を活用した、各種ガイドやイベント、実習・研修、学校等教育団体を対象とした体験プログラムを充実させる。また、里山生態園における里山の人と野生動物のかかわりや問題点などを伝えるガイド活動や、こどもどうぶつえんにおける動物とのふれあいを通じた、動物の多様性やいのち大切さを実感できる体験活動の拡充を図る。

④ 調査研究事業

様々な動物の飼育展示・繁殖、教育啓発に関する調査研究によって得られた成果や情報を展示や解説活動、出版、各種研究会発表などで発信する。

⑤ 在来馬保全活用事業

木曾馬や野間馬の展示や乗馬体験について、緊急雇用創出事業を活用しながら事業の展開と充実を図り、日本人と在来家畜の関わりや文化を伝え、その普及と保存に努める。また、今後の本事業の運営についての調査、検討を行なう。

⑥ ライチョウ保護増殖事業

スバルライチョウの飼育繁殖に取り組み、技術の向上を目指すとともに、生態展示を通して、ニホンライチョウとその生息環境の現状を伝え、高山の環境保全の大切さを普及啓蒙する。また、国内飼育園館などとの情報交換や共同研究を推進し、域外保全に向けた協力体制を構築する。

(3) 地域事業

地域の施設や住民と連携して、ファミリーパークが位置する呉羽丘陵が持つ資源の魅力を発信し、市民が気軽に訪れ、憩うことができる呉羽の森の賑わい

づくりに取り組むとともに、自然や文化などの魅力を引き出し、地域の活性化を図ることで「時代にあった新しい里山再生のモデル」となることを目指す。

① 経営企画事業

入園者サービスのさらなる向上を目指すとともに、公益財団法人としての、事業の企画運営、組織経営について検討を進める。

② 広報・広告事業

ファミリーパークに関する各種情報や実施事業の案内などホームページを活用した情報提供の充実に努める。また、SNS（ソーシャルネットワーキングサービスの略、フェイスブック等）などの新たなツールを活用した広報活動を試みる。

③ 悠久の森事業

悠久の森実行委員会やその関係団体と連携し、呉羽丘陵を広く活用したフェスタ・フォーラム、里山ネット事業などを展開する。また、「呉羽丘陵の生き物保全・普及」事業ではホクリクサンショウウオやホタルの生息地での環境整備活動や小学校への出前事業などをこれまでのネットワークを基盤に展開し、地域住民が一体となって生き物の保全活動に取り組んでいく仕組みづくりを行う。

④ 輝けいのちの事業

輝けいのち協議会と連携し、いのちの尊さを普及啓発する事業「輝けいのちの集い」を実施し、学校や学生との連携を深め、さらに定着・発展を図る。

⑤ 地域連携事業

富山市や県内の大学、各種団体など、産官学民との連携を図り、そのネットワークを活用した健康、スポーツ、文化、自然などの行事や、教育活動を独自に企画実施し、このことにより、幅広い年齢層を対象にファミリーパークや呉羽丘陵の利用を促進し、持続可能な地域社会づくりにつなげる。

⑥ ボランティア活動支援事業

市民団体や企業による園内での整備活動などのボランティア活動を支援するとともに、活動の園内誘致に努める。

⑦ 活性化事業

- ・ ゴールデンウィークや夏休みなど、季節に応じたイベントを企画・実施するとともに、幅広い年齢の方が楽しめる内容を検討する。
- ・ 里ノ助出演事業について実施回数の増を検討し、拡充する。
- ・ 富山市や公共機関、学校、企業団体などが主催するイベントに協力する。
- ・ 入園者700万人の達成が見込まれることから記念イベントを開催する。

⑧ 動物・里山教育プロジェクト事業

富山大学や富山県立大学、NPOきんたろう倶楽部等と連携し、呉羽丘陵で展開する新しい教育・健康プログラムの研究開発を実施し、その効果測定を行うとともに、薬草や和紙など富山の特徴を活かした新しい里山活用システムの構築に引き続き取り組む。

(4) 里山事業

園内の里山を活用し、市民が楽しみながら体験を通して里山を知ることができる事業を行う。また、その自然環境の保全と生物多様性を図るため、里山に生息する野生動植物等の保護・生息調査ならびに啓発活動を実施する。

① 里山活用事業

小、中、高校生などを対象とした校外学習や教育実習、団体や一般公募によるクワガタ、カブトムシを教材とする体験教室や和紙づくり事業を継続して実施する。また、新整備計画に基づき、里山の活用や保全方法について検討し、実施に向けて引き続き富山市と協議を進める。

② 里山保全管理事業

生物多様性のための環境づくりを目的に、自然環境保全とそのための管理を継続して行う。また、ホテルが飛び交う呉羽丘陵にするため、地域の小学校、自治会等と連携し、ホテルの生息状況を調査し、その結果をマップで公表する。さらに、池に生息する外来魚の駆除活動を継続して実施し、身近な自然環境の現状と課題を伝えていく。

③ 里山整備研究事業

地域やボランティアと連携し、引き続き希少野生動植物の環境保全を行い、ギフチョウなどの定着を図る。また、竹林跡地に多様な生物が生息できるよう、整備及び調査を行う。一方、園内の自然林にはムササビの繁殖用に巣箱を設置するとともに、身近な野生動物の生態を展示し、ホームページでも紹介する。

4 収益事業等

(1) 収益事業

施設内における物品並びに飲食物販売を通しファミリーパーク施設の利便性を向上させる事業。

① 売店・食堂・乗馬体験費

- ・季節やイベントに合わせた出店や移動販売を行う。
- ・地元の食材を素材にした物品の販売を検討する。
- ・ファミリーパークのオリジナル商品の開発に努める。

- ・乗馬体験の推進のため、記念バッチと在来馬エサの販売などを行う。

(2) その他の事業

① 遊園地維持管理運行事業

- ・施設の老朽化に伴う安全対策の徹底を図る。
- ・各種法定検査を実施しながら、運行の安全性の維持を図るとともに、今後の運営について市と協議する。
- ・遊具使用料等の徴収と富山市への納付を行う。

5 法人会計

- (1) 公益財団法人として適正な運営に努める。
- (2) 公社の財務会計及び予算・決算等の経理を行う。